

県内で感染者数が増加しています。感染拡大を防ぐため、不要不急の外出・移動の自粛など協力をよろしくをお願いします



阪神・淡路大震災直後の阪急伊丹駅

地震発生

事前の準備をしよう

9月1日は「防災の日」です。今後30年以内に発生する確率が7～8割といわれる南海トラフ巨大地震に対し、各家庭において災害に対する備えをしておくことは、自身の生命、身体、財産を守るだけでなく、地域の被害を軽減する上で必要不可欠です。常日頃から事前準備に心掛け、「防災・減災」について考えてみましょう。問い合わせは市危機管理室☎784-8166へ。

家庭で取り組む事前の防災・減災対策

家の中の安全対策

大地震発生時は、「家具は必ず倒れるもの」と考え、次の通り「安全な空間」を確保しておきましょう。▷寝室などできるだけ家具を置かない▷なるべく背の低い家具を選んで、壁に固定する▷避難経路の出入り口をふさがないように家具の向きや配置を工夫する——など。

物資の備蓄

食料・飲料水は、日頃から1週間程度は買い物しなくても生活できるように非常食(調理不要なもの)を3～7日分、飲料水(1人1日3ℓ)は7日分以上を買い置きしましょう。消費期限・賞味期限に留意して買い足しも心掛けましょう。また、医薬品、懐中電灯などの生活物資も使用期限に注意し、備蓄しましょう。

正確な情報収集

市は、緊急地震速報(最大震度が5弱以上、市域が震度4以上の地震が発生する場合に自動で放送)を市内28カ所の屋外拡声器やエフエムいたみ(79.4MHz)、緊急告知FMラジオ、教育施設内放送設備などで放送します。正確な情報収集をして、速やかに行動に移し、自分の身を守りましょう。

個別に必要な物の準備を

物資の備蓄には、女性や高齢者、乳幼児などで個別に必要な物もあります。忘れずに準備しましょう。内容例は下表の通り。

個別に必要な物(例)

女性	生理用品、防犯ブザー、くし、ブラシ、鏡、化粧品、髪ゴムなど
高齢者	介護手帳、紙おむつ、介護用品、入れ歯、補聴器など
乳幼児	粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、清浄綿、バスタオル、紙おむつ、抱っこひも、母子健康手帳など
障がい者・外国人など	障害者手帳、ホイッスルなど助けを求める手段、杖など移動補助手段、筆記用具などコミュニケーション補助手段など

知識を深めるために



消防庁発行の①「わたしの防災サバイバル手帳」、人と防災未来センター発行の②「減災グッズチェックリスト」には防災・減災に関する内容が詳しく記載されています。各ホームページ(二次元コードから読み取り可)から、確認を。



防災アカウントの登録を

市は避難に関する情報などの緊急情報や地震、津波、気象警報などの防災に関する情報をLINE公式アカウント「伊丹市防災」(二次元コードから読み取り可)を活用して提供しています。詳しくは次の通り。

【機能】▷被害情報収集=市民や職員から市内の被害状況を瞬時に収集▷避難支援=各状況に合った避難方法の情報を提供——など。

いつ発生するか分からない災害に備え、この機会に登録を。

市危機管理室 ☎784-8166



新型コロナウイルス関連情報

ワクチン接種状況について

8月5日時点での市内のワクチン接種状況は次の通り。

【65歳以上】▽1回目1189・0%(4万5千779人)▽2回目1185・0%(4万3千710人)【全体】▽1回目1150・3%(10万2千355人)▽2回目1133・6%(6万8千327人)——です。

詳しくは市ホームページ(下二次元コードから読み取り可)で確認を。

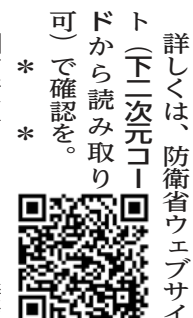


予約はお早めに

ワクチン接種を希望している人で、まだ予約を申し込んでいない人は、ウェブ予約が市新型コロナウイルスワクチンコールセンター☎764-7835に申し込みを。

ワフチン対象年齢が引き下げ 武田/モデルナ社製ワフチン

詳しくは、防衛省ウェブサイト(下二次元コードから読み取り可)で確認を。



7月31日から

今池緑地がオープン

市は、7月31日、市民が憩える場所として「今池緑地」を新しく整備しました。

従来の今池の灌漑用としての機能を維持しつつ、園路、植栽



また、水面近くまで望むことが出来るウッドデッキや新庁舎建設地にあった桜などを接ぎ木により苗木まで育て、植樹しており、春には池を囲む桜を楽しみながら散策やジョギングもできます。ぜひ利用してください。

市公式YouTube(二次元コードから読み取り可)で今池緑地の風景を見ることが出来るので、ぜひご覧ください。



園市公園課 ☎784-8134